

尾張国の中世史を読み解く、待望の一冊

信長以前の尾張国

- 織田一族と那古野今川家 -

織田信長が天下人への道を歩み始める以前、尾張国では何が起きていたのか。本書は、織田信長・信秀父子の活躍を描く「戦国時代の尾張」から一歩さかのぼり、室町時代から天文年間に至る尾張の政治・社会を、織田氏と今川氏という二つの勢力を軸に描き直すものである。

信長の祖父以前が不明とされてきた織田弾正忠家の系譜、尾張守護代として勢力を伸ばした織田大和守家、室町幕府の奉公衆として活動した今川氏、そして那古野城を拠点とした那古野今川家--「信長が登場する前の尾張」を知ること、これまでとは違った織田信長・織田信秀の姿がみえてくる。

■著者：濱竜也・氏戸佳香 ■体裁：四六判・並製 ■総ページ：270ページ(予定)
 ■定価：2,800円＋税 ■Cコード：C0021 ■ISBN：978-4-911398-01-2
 ■発行：白天堂

表紙(表)



表紙(裏)



※表紙・装丁は予告なく変更する場合があります。

本書のポイント

- 1 「名古屋」は信長の時代から始まったわけではない。
現在の名古屋中心部にあたる那古野は、信長以前から今川氏の一族が在城していた。那古野荘・那古野城・那古野今川氏の成立と展開を追い、「名古屋」の中世史を描き出す。
- 2 織田信秀以前の「織田弾正忠家」に迫る。
信長の直接の先祖については、近年研究が進んできたが不明な部分が多い。本書では信長の祖父や曾祖父らの事績を追い、信秀・信長へとつながる弾正忠家の系譜を再検討する。
- 3 「信長の祖父」は本当に「信貞(定)」なのか？
織田信長の祖父として知られる「信貞(信定)」の名前をめぐり、妙興寺文書に残る実際の署名を検証。文字の形や筆の運びにまで踏み込み、従来説を改めて問い直す。

本書の内容

- 序章 見過ごされていた尾張中世史
- 第1章 今川家と織田家中世
- 第2章 十五世紀の尾張
- 第3章 今川家の没落と織田家庶流の自立
- 第4章 今川氏豊と名古屋合戦-言継がみた尾張-
- 第5章 今川家の崩壊と信秀の国内台頭
- 第6章 那古野家庶流のその後-敦順夫婦から山三郎へ-

著者紹介

濱 竜也 (織田一族パートを担当)
東海中部歴史家連盟主宰 郷土史家

氏戸佳香 (那古野今川家パートを担当)
論文「室町幕府奉公衆・今川那古野氏の興隆と終焉」
(静岡県地域史研究会、2026,9)
著書：那古野今川家の興亡(2025)

ご注文は FAX 03-3294-2177(JRC)まで

貴店名・帳合

書名	ご注文数	定価	発行	ISBN
信長以前の尾張国 - 織田一族と那古野今川家 - 濱竜也・氏戸佳香 著	冊	2,800円＋税	白天堂	978-4-911398-01-2

取次会社はJRCです。JRCからすべての取次へ出荷致します。返品は吉川了解で随時、承ります。

白天堂

〒468-0003 愛知県名古屋市中天白区鴻の巣2-1106
TEL 052-803-2169

備考